

【議長賞】笑顔にしてくれる魔法の時間

安城南部小学校 杉山 文菜

私は、六年間食べ続けて来た南部小学校の給食に感謝しています。

人気メニューのビビンバやこめこパンなど多くの種類がある給食は、どれもおいしい物ばかりで給食の時間というのは、私だけでなく多くの人が幸せな時間と思っていると思います。

私のクラス六年一組は、いつもしゃべってばかりで給食の準備はおくれています。けど五割くらいは、給食のメニューを見て、

「今日の給食おいしそう。」

などとしゃべっていて私はうれしく思います。

「キンコーンカーンコーン。」

四時間目の終わりのチャイムが鳴るとまちに待った給食の時間になります。学校の中で私は給食が一番の楽しみです。

給食の時間の楽しみは三つあります。

一つ目は、みんなと楽しくしゃべれるからです。あまり話せないゲームや給食の話題でいつも盛り上がっているのです、みんなと楽しくしゃべれて給食がくるのは楽しみです。

二つ目は、みんなと協力することが出来るからです。

給食の時間は、準備と片付けは自分達でやるためみんなと協力して一人一人のきずなが深まっていくので自分にとっても、クラスにとっても良

い事になるから給食の楽しみです。

三つ目は、みんなが笑顔になるからです。

授業を受けていると、みんな真けんになるけど給食の時間は、楽しい事を話しているのでみんなが笑顔になるから楽しみの一つです。

私は、給食をいつも作ってくれる多くの方々に感謝しています。私達の体の事を考え、私達に合った給食をとどけてすごいと思います。給食を食べていると、みんなが笑顔になって楽しいクラスになります。給食をとどけて笑顔になるという事はすごく良い事なので、私もみんなを笑顔にできたらいいなと思っています。

給食の時間は、人を楽しくさせる、幸せにさせる、笑顔にさせてくれる、そんな時間です。私は、給食の時間は、どんな人でも笑顔にしてくれる魔法の時間だと思います。